

利用促進部会の今後の進め方について

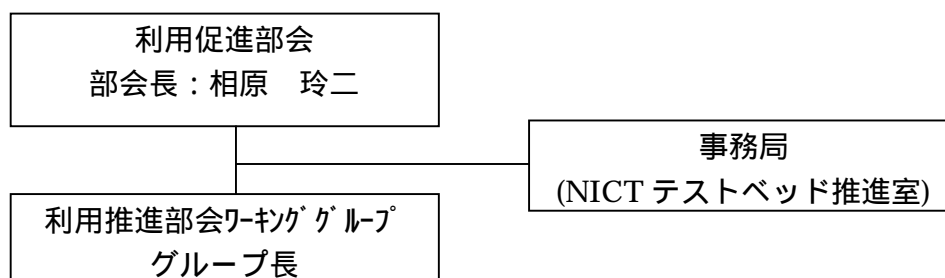
1 目的

地域・産学の関係者間の意見交換・交流を促進し、特に地域における JGN の利用促進を通じて研究開発の活性化を図る。

2 進め方

- 地域・産学に対して情報提供・情報交換の場を提供するとともに、各地域協議会間の連携の場としても活用する。
- 具体的には、スピーカーを選定し、総務省の施策、地域協議会の活動報告、地方自治体の取組み、アクセスポイントの活用事例、産学連携の事例、現状課題などといった具体事例について発表してもらい、併せて相互の意見交換を行う。
- 地域協議会等とタイアップした部会開催も検討する(地域協議会とのタイアップする場合、地域協議会等が主催する地域イベント・産学連携イベントを支援。)
- 利用促進部会としてのプログラム企画枠を設けるなど、JGN シンポジウムとの連携についても検討する。

3 利用促進部会の構成



4 構成員

- 部会長 : 相原 玲二 (広島大学)
 副部会長 : 西村 俊之 (MRI)
 メンバー : JGN 利用者
 : アクセスポイント担当者
 : 地方自治体
 : 総合通信局

NICT 各センター
地域協議会事務局

オブザーバー : 総務省
事務局 : NICT テストベッド推進室

5 利用推進部会ワーキンググループ(以下、WG と表記)の設置

WG 設置の目的

利用促進部会としての活動全体の活発化を図るために、具体的な活動方策の素案の作成や地域協議会等と連携して具体的な活動を行い、必要に応じて、利用促進部会の下に WG を設置する。

目的に応じて複数の WG を設置することも可能とする。

構成員

特に JGN の利活用支援といった観点から、利用促進部会の目的に賛同し、かつ、積極的に活動する意思のある個人であり、利用促進部会長が指名した者により構成される。

グループ長・副グループ長
利用促進部会長が指名する。

進め方

- WG 開催は、利用促進部会長の指名したメンバー、または、部会メンバー有志の発議により行われる。
- 1つの WG は単一のテーマを持ち、テーマが異なる場合は別の WG を開催する。
- テーマの解決により、当該 WG は利用促進部会に成果を具体的に取りまとめたうえ、報告し解散する。
- WG 会合の召集は、グループ長が行う。
- 必要に応じ利用促進部会や地域協議会において、活動成果等のフィードバックを行う。